

平成28年6月28日

生徒朝礼講話

備前東地区総体、お疲れ様でした。皆さんの必死で闘う姿を応援することができ、幸せな二日間でした。そして、ソフトテニス部の1位の賞状は伊里中に来て初めてのことで、本当に嬉しく、また、誇りに思います。

残念ながら多くの部は県大会に進めませんでした。皆さんが、県体に向けて頑張ってきたことは意味のあることですし、1年前と比べて、どれだけ大きく成長したか、体も心もどれだけ強くなったことかと嬉しく思っています。

先生たちにとって一番の幸せは、皆さんの成長を感じる時です。「大きくなったなあ」「こんなことができるようになったんだ」と感じたとき、先生たちは本当に嬉しく思います。

県大会に進む人は、一つでも上に勝ち上がることを祈っています。そして、1，2年生は3か月後に新人戦です。それまでに何をすべきかしっかりと考え、頑張ってください。

私は岡山市の岡北中の出身ですが、当時、バスケットボール部が男女ともものすごく強くて、顧問の先生は私が大好きな先生でした。その先生がいつも言われていたのは「練習に遅れない、休まないは当たり前。頭を使え。声を出せ。走って動け。」それから「規則を守れ。時間を守れ。係や委員の仕事を真面目にしろ。」でした。

「スポーツはルールの上で闘う。普段から規則を守れない生徒はいざという時に反則を犯す。それが、致命傷になるかもしれない。だから、普段から規則を守れ。バスケットは時間に掛かるルールが多い。時間にルーズな生徒はフォーメーションを崩すことが多い。だから、普段から時間を意識しろ。いざという時に体を張ってでも守らないといけない場面、体を張って貢献しないといけない場面がある。普段から人のために仕事をする気持ちが大切だ。」

こんなお話をされていました。

9月も楽しみにしています。頑張りましょう。